オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

農学部 応用生物科学科 1年 (加治屋優希)

○派遣:ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

○派遣期間: 2017年 8月 15日 ~ 2017年 9月 18日

〇渡航時の学年: 1年次

○渡日前の手続について

・参加に至った経緯について:

以前から、長期留学やホームステイをしてみたいという思いがあり、まずは 1 か月挑戦してみようと思った。また、ニュージーランドは自然が豊かであり、美しい自然を自分の目で見てみたいと思ったため、参加することにした。

・渡航に関する手続について:

パスポートの有効期限が足りなかったので、パスポートの更新をした。ランゲージセンター、航空券の手続きは国際連携課の方がしてくださったので、料金を払うだけだった。乗り継ぎのため、オークランドと東京で 1 泊ずつしたが、その際のホテルは自分で予約した。国際連携課の方がおすすめのホテルを紹介してくれたので、探す必要はなかった。

•査証取得:

なし

★体験記:

〇生活費:

授業料、航空券代、ホームステイ代などすべての費用を合わせると、60万円くらいかかった。食事は、朝昼晩ホームステイ先に用意してもらえたので、買う必要は無かったが、何回か友達と一緒に外食した。その他、アクティビティーやツアーに参加したりお土産を買ったりして、追加でいくらかかかった。

○ホームステイ先の環境∶

私がお世話になったホストファミリーは、息子が2人いる、とても温かい家庭だった。お風呂はシャワーのみで、10分から15分で入るように言われたが、特に不便は感じなかった。食事については、朝食は自分でトーストやシリアルを自由に食べた。昼食は、毎日サンドイッチを作ってくれた。夕食は野菜が少ないと感じたが、いつもとても美味しかった。夕食の後の時間は、できるだけリビングにいて、家族とたくさん会話するようにした。会話の際には、Yes、Noの受け答えをはっきりすると、お互いが気持ちよくコミュニケーションがとれると実感した。息子のクラブ活動の送り迎えや、買い物など、誘われると必ず行くようにした。帰るころには、洗濯物の手伝いも頼んでくれるようになり、家族の一員になれたようでうれしかった。

〇大学のサポート状況:

質問があった際、何度か受付を訪ねたが、いつも笑顔で丁寧に答えてくれた。また、担任の先生が一人一人と向き合ってくれ、とても優しかった。

〇授業の様子:

クラスが 5 つに分けられ、それぞれのクラスによって授業内容は異なるが、私のクラスはテキストに基づいて文法、リスニング、スピーキングやライティングなどをした。難易度は難しすぎず、簡単すぎずちょうどよかった。授業は全員参加型で、少人数のため、とてもやりやすかった。

〇他の留学生たちの様子:

私が行ったときは日本人が1番多かったが、その他に中国人、タイ人、サウジアラビア人、韓国人、フランス人、チリ人、オマーン人などがいた。日本人は短期の人が多く、外国人は長期で来ている人が多い印象を受けた。みんな積極的で自分の意見を持ち主張するので、とても刺激を受けた。話しかけると、みんなフレンドリーに話してくれた。私のクラスは、就職した後に研修などで来ている30代の人も5人ほどいて、人生経験の豊かさを感じた。



〇現地学生との交流:

私は高校から山岳部に入っており、ハイキングが趣味だということをホストマザーに伝えたところ、オタゴ大学のトランピングクラブを紹介された。メールを送り、連絡をとって、クラブのメンバーと一緒に40人くらいでハイキングに行った。約100ドルで、ニュージーランドの南島をバスでほぼ一周できて、とても嬉しかった。ランゲージセンターの生徒も、日本人も、自分以外誰もいない中で4日間を過ごすのは少し怖かったが、外国人の友達をたくさんつくり、美しい自然も見ることができて、本当に充実した日々を送ることができた。オタゴ大学は生徒が多国籍で、お互いの文化を尊重する雰囲気があったので、生活しやすかった。特に仲良くなったメンバーとは、その後も2回ほど再会して食事に行った。みんなとても優しくて、おすすめの店、食べ物など様々なことを教えてくれた。参加するまでは少し大変だったが、参加して本当によかったと思っている。



〇街の様子:

多くの店が並んでいるジョージストリートには、放課後によく行った。学校から、徒歩 20 分くらいで行ける。家から学校へはバスを利用した。バスの乗り方はホストファミリーが教えてくれた。わからないことはホストファミリーに聞けば教えてくれると思うので、心配しなくて大丈夫だと思う。



〇その他:

受け身になるのではなく、主体的に行動することが大事だと改めて実感した。主体的になることで、周りの人も手を差し伸べてくれるし、より充実したニュージーランド生活を送れたと思う。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

いつも笑顔で生活していれば、街で出会った人も、バスドライバーも優しく接してくれました。きちんと準備して行くことはもちろん大切ですが、心配しすぎなくても大抵はなんとかなるので大丈夫です。パソコンは学校のものを使えるので持っていく必要はないと思います。コンセントの変圧器は持っていったほうがいいと思います。1 か月という短い期間でしたが、本当に充実していて毎日楽しかったので、満足しています。ぜひ楽しんできてください。